都市再生整備計画 事後評価シート 下東条地区

平成27年3月

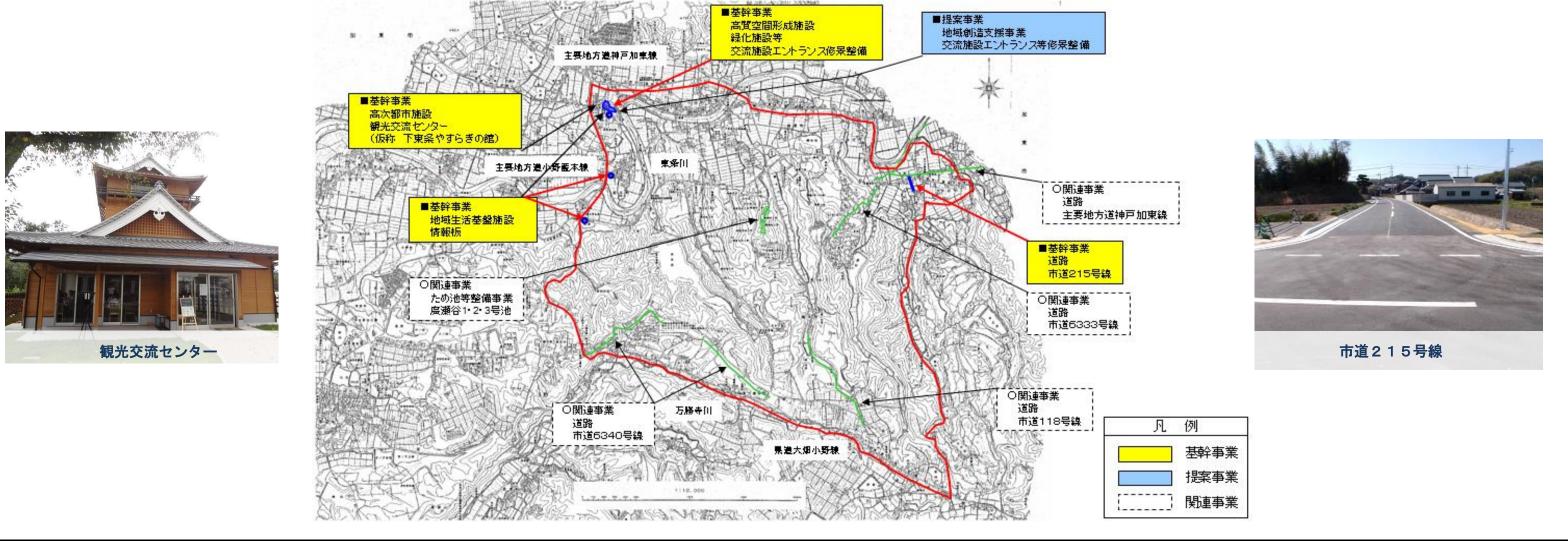
兵庫県小野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名 /			小野市	小野市		地区名	下東条地区			区		面積	868ha	
交付期間 平成24年度~26年度		事後評価	実施時期	<mark>寺期</mark> 平成26年度		Ę	交付対象事業費			140	国費率		0.4				
										事業名							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業	道路(市道215号線)、高次都市施設(観光交流センター)														
	実施した事業	提案事業	なし														
			事業名						削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から	基幹事業	なし						_					-			
	削除した事業	提案事業	なし						_					_			
	新たに追加し		地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(交流施設エントランス修景整備)						・観光交流センター利用者の施設への誘導と利便性向上を図るため、観光案内板及び案内標識を追加 ・観光交流センター利用者の快適性向上を図るため、隣接する既存施設との共有エントランス部の修景整備(土風舗装)等を追加				目標、指標に関係するが、数値目標は据え置く。				
	た事業	提案事業	地域創造支援事業(交流施設エントランス等修景整備)					・観光交流センターの整備に合わせ、施設利用者の快適性向上を図るため、隣接する既存施設との共有エントランス部の修景整備(電線地中化)等を追加				目標、指標に関係するが、数値目標は据え置く。					
	交付期間	当 初	ı			交付期間の変更による事業、		る事業、									
	の変更	変 更	_			指標、数値目標への											
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指 標		単位	従前	値 基準年度	目標	値 目標年度	数 モニタリング		目標 達成度	1年以 達成見		効果発現要 (総合所見)		フォローアップ 予定時期	
	指標1 道路利用者の満足度 %			7	23	50	26		73	0	あり なし		県道神戸加東線バイパスかび既存道路の車道拡幅等に 利便性・安全性などが向上し 上した。	らの車道新設及 より、利用者の	_		
	指標2	交流人口		人/年	38,700	23	48,000	26		55,000	0	ありなし		下東条地区の地域交流拠点 下東条」の周辺及び「観光交 一体的に整備することにより 場が創出され、交流人口がり	流センター」を 、新たな憩いの	平成27年4月	
	指標3			<u>.</u> ! !		<u> </u>		<u>:</u>				あり					
	 指標4			! !		!		!				あり					
	指標5			<u>.</u> !				<u> </u>				なし あり なし なし					
3)目標を定量化する指標の 目標値設定の考え方	・道路利用者の流 ・施設の利用者数							標値とした。									
4)定性的な効果 発現状況																	
5)実施過程の評価	実施内容							day 1	実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリ	なし 都市再生					修備計画に記載し、実施できた 修備計画に記載はなかったが、実施した 修備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参プロセ	下東条地区地域づくり協議会や味彩会の活動 都市再生 					都市再生图	を備計画に記載はなかったが、実施した				時及び₹	のことは地域で考えて実施することを基本的な考え方として、事業計画 び事業実施時に下東条地区地域づくり協議会等と市が連携をとり、事 行っていく。				
	持続的なま体制の権	本市再生 下東条地区地域づくり協議会や味彩会の活動支援 都市再生					都市再生整	整備計画に記載したか、実施できなかった 整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載し、実施できた を供計画に記載はなかったが、実施した				下東条均	条地区地域づくり協議会や味彩会の活動を中心に、地域住民主体の を継続する。市は引き続き、活動に対し、後方支援を行っていく。				

様式2-2 地区の概要

下東条地区(兵庫県小野市) 都市再生整備計画事業の成果概要												
まちづくりの目標	目標を定量化する指導	従前値		目標値		評価値						
自然を活かした「コミュニティセンター下東条」周辺の環境整備により、魅力ある空間 を創出し、地域住民の生きがいづくりや地域交流の活性化を図る	道路利用者の満足度	単位:%	7	H23	50	H26	73	H26				
目標①:地域の交流拠点である「コミセン下東条」周辺の交通環境を改善し、地域住民・来訪者の快適性向上を図る。 目標②:「コミセン下東条」周辺において、新たな交流拠点である「観光交流センター」を整備し、地域住民の生きがいづくりや地域交 流の活性化を図る。	交流人口	単位:人/年	38,700	H23	48,000	H26	55,000	H26				



・観光交流センター及びコミセン下東条の周辺の整備を一体的に行い、快適性の向上を図ったことにより、両施設の利用人数が増加した。

・観光交流センターを地元住民主体の組織で運営し、地元食材を使用した特産品の開発や地域づくり協議会の各種行事等(文化祭、夏祭り等)への積極的な参画により、地域間交流の活性化を図ることができた。

・車道新設・拡幅・舗装によるアクセス改善等の交通基盤施設の強化を推進し、快適性・安全性の確保を図ったことにより、道路利用者の満足度が高まった。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

まちの課題の変化

・観光交流センターを地域活性化の拠点施設として、地元住民主体の組織が中心となり、地元食材を使用した特産品の開発、地産地消体験教室などの学校行事への参画拡大、高齢者支援(地域の情報網としての機能強化・独居老人 訪問等)等の事業を積極的に実施し、地域コミュニティのさらなる活性化を図る。

・恵まれた自然環境や文化財を有効に活用するための事業計画の実施に向けた検討を進める。